

機関名: (地独)北海道立総合研究機構水産研究本部

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: (地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	●青森県日本海海域における、一本釣によるスルメイカの10～12月の累積漁獲量が30.4トンを、前年比179.9%と前年は上回ったものの、過去5年平均比では30.0%と極端な不漁であった。 (県統計データ) ●青森県日本海海域におけるマダラの10～12月の累積漁獲量が46.6トンを、前年比26.4%、過去5年平均比44.8%と極端な不漁であった。 (県統計データ)	●5月頃から続いた、例年は見られることが少ない男鹿半島沖への冷水の差し込みがやや弱まった。	特になし	特になし

機関名: 秋田県水産振興センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	●9～12月のハタハタ漁獲量は沿岸漁243トン(過去5年平均比32%)、沖合漁236トン(同60%)、合計480トン(同42%)と低調であった。	●12月25日、男鹿市鶴ノ崎海岸にアカイカ(外套長329mm、体重2.1kg)が漂着した。本県でアカイカが確認されるのは近年では珍しく、男鹿市北浦の定置網にも同時期に数個体が入網した。	特になし	特になし

機関名: 山形県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	●いか釣り漁業(生イカ)で10月まで漁獲があった。(10月:平成24～27年:0トン、平成28年:9トン、平成29年:37トン)	特になし	特になし	●10月にキタゾウアザラシ1頭が鶴岡市の海岸に打ち上げられ、加茂水族館に保護された。

機関名: 新潟県水産海洋研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 富山県農林水産総合技術センター水産研究所

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 石川県水産総合センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 福井県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 京都府農林水産技術センター海洋センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	●底曳網漁業における今期のズワイガニ漁では、水揚げされた雄ガニ(水ガニ除く)のうち、最終脱皮を終えていないハサミの小さな個体(通称モモガニ)の割合が高かった。	特になし	特になし	●10月に発生した台風21号の通過により、漁港施設・水産関連陸上施設・海面養殖施設の破損、漁船転覆・損傷、定置網の破網など多大な被害が発生した。

機関名: 兵庫県農林水産技術センター但馬水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	●11～12月に底曳漁業者からサルバクラゲ類の入網報告あり。 ●11～12月の但馬栽培漁業センター取水水温がはなはだ低めで推移。	特になし	特になし

機関名: 鳥取県水産試験場

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥取県栽培漁業センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	特になし	特になし	特になし	特になし

機関名: 鳥根県水産技術センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	●10～11月に定置網にソウダガツオが多く入網し、定置漁獲量(県全体)では11月は平年(過去5年平均)の14倍の漁獲量となった。	特になし	特になし	特になし

機関名: 山口県水産研究センター

年月	水産資源関係	水産海洋・漁場保全関係	水産増養殖関係	その他(水産利用加工、水産経済、災害等)
平成29年 10月～12月	●スマが定置・ひき縄でまとまって漁獲され、近年にない豊漁となった(萩市場2017年12月水揚21.7t、2012～2016年同期漁獲量0～360kg、平均79kg) ●例年9月～10月のシケ後に長門市仙崎湾で曲建網によるキジハタの大量漁獲が見られる。このため、9月10日から11月4日まで建網業者6名の漁獲状況を調査。現在、漁獲機構を調査中。 総漁獲数561尾(35cm以上 12%、30～35cm 85%、30cm未満3%) ※山口県ではH25年10月から30cm未満のキジハタの採捕禁止の委員会指示が出されている。	●長門市仙崎湾において、ギムノディニウム・カテナータムを原因とする麻痺性貝毒(16.10MU)が発生し、12月26日から二枚貝等の出荷自主規制を行っている。	特になし	特になし